

放課後まなび教室ニュース

令和5年11月号 No.28

地域の方々の協力により全校（158校）で実施している放課後まなび教室。本市では、スタッフの方々のニーズをもとに研修会を毎年開催しています。今号は、6月29日に下京区の総合教育センターで開催したスタッフ研修会（参加者 113名）の様子と西京極西小学校、京極小学校、美豆小学校の放課後まなび教室の様子をお届けします。

「スタッフ研修会」を開催しました！

講師：齊藤 知江子 氏

（京都市教育相談総合センター 主任指導主事・カウンセラー）



今回のテーマは「心がふれあうコミュニケーション術」

参加者には、4人グループで次の内容についてディスカッションをしていたきました。皆さん笑顔で活発な意見が出ていて、盛り上がっていました。

- 初対面の方に笑顔で自己紹介。
- 久しぶりにやってみたいこと。（共通点探し）
- 「好きなスポーツについて」相手の話を傾聴（＝心を傾けて聴く）する。
- 対面ではなく、同じ方向を向いての傾聴体験。

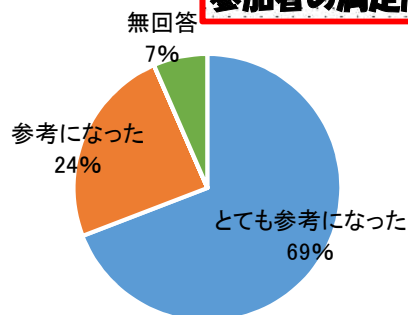


また、質疑応答では、「まなびの子どもから『誰にも言わないでね』という話をされた場合の対応はどうすれば？」という皆さん共通の悩みに対して、大きく頷いて共感されているのが印象的でした。

参加者の声

- ・スタッフとして自信がなかったが、Doing（してくれる）役目と Being（居てくれる）役目の大切さを知り、「となりのトトロ」のように側に居る役目なら出来ると勇気をもらった！
- ・親や先生のような上下関係ではない、放課後まなび教室のスタッフのような「ななめの関係」の大人の存在が必要だということがよくわかって、また頑張ろうと思った！
- ・少人数のグループで楽しく話が出来た。他校の方々のお話も聞けて、大変参考になった！
- ・子どもの話の内容がわからなくても、心を傾けて聴く「傾聴する」行為が、子供たちには通じるということがわかって良かった！
- ・スタッフになってまだ日も浅いが、皆さん同じような悩みなんだなあと少し安心した！

参加者の満足度



発行 京都市子ども若者はぐくみ局 子ども若者未来部 育成推進課 放課後まなび教室担当
〒604-8171 中京区烏丸通御池下る虎屋町 566-1 井門明治安田生命ビル 2階
電話 075-748-0016 FAX 075-254-5020





日頃から、放課後の子どもの居場所づくりの充実にご尽力いただきありがとうございます。今号は、コロナ禍を経て教室に来ている子どもたちの様子や、学校との連携、スタッフとしてのやりがいなどをお伺いしてきました。



西京極西小学校(右京区)

西京極西小学校放課後まなび教室では、授業が終わってから時間差でやってくる子どもたちに、できるだけ静かな環境で宿題に取り組めるようにと、宿題が終わると一冊読書をするのを促しています。読書後は好きなことができる時間で、子どもたちが自由にやりたいことを選んで、将棋やオセロなど楽しんでいました。スタッフが将棋のルールを子どもたちから教わることもあり、楽しく明るくコミュニケーションをとっているとのことでした。

「放課後まなび教室に通っていた児童が大きくなり、町で声を掛けられた時に成長した姿を見ると、見守ってきてよかった、関わってきてよかったとやりがいを感じます。」「学校の先生方とも放課後まなび教室の運営について日々話し合っており、子どもたちの様子も些細なことから共有するよう連携を意識しています。」とやりがいや日々の活動についてお伺いしました。

スタッフは、皆さん地域の方で、優しい目で温かく子どもたちを見守っていました。スタッフの皆様に見守られ、子どもたちもののびのびと学習に取り組み、いきいきと放課後まなび教室で楽しい時間を過ごしていました。



京極小学校(上京区)

京極小学校放課後まなび教室の上階には「ゆうゆうクラブ(学童クラブ)」があります。放課後まなび教室終了後に、ゆうゆうクラブへ行く子どもたちは、荷物をゆうゆうクラブに置いてから放課後まなび教室にやってくるなど連携を図っています。一日の授業が終わった後にもかかわらず、すぐに宿題に取り組む子どもたちの様子や、子どもたち同士で教え合う様子に感心させられました。宿題が終わると隣接する教室で、読書やオセロなどをして過ごしています。「放課後まなび教室に通うことで新たな友達ができた」と利用する保護者から喜ばれたことや、「卒業する子どもから感謝の手紙をもらって感激した」とこれまでの活動の中での感動もお伺いしました。

京極小学校では、学校と放課後まなび教室がお互いに気兼ねなく行き来し、小まめに連絡を取り合いながら、放課後まなび教室のことを決めておられるとのことでした。また、京極小学校の地域では、地域全体で子どもたちを見守ることを大切にされており、「学校と放課後まなび教室がこれからも力を合わせて子どもたちを見守っていききたい」と力強いメッセージをいただきました。



美豆小学校(伏見区)

美豆小学校放課後まなび教室では、低学年が1階、高学年が2階の教室でそれぞれ宿題に取り組んでいました。11月からは1年生も加わり大所帯になるとのことで、低学年と6時間授業の子どもたちが重ならないように工夫し運営されているとのこと。宿題を終えた子どもたちは、自主学習をしたり、隣接するスペースでスタッフと将棋をしたりするなど、それぞれが子どもらしく過ごしているのが印象的でした。スタッフから、「子どもたちとお祭りを実施し、忘れられない楽しい思い出になった」と放課後まなび教室での素敵な思い出をお伺いしました。

美豆小学校放課後まなび教室では、当初から「記録ノート」を使って、子どもたちと放課後まなび教室での出来事や感想などやり取りしているとのこと。校長先生をはじめ担任の先生も教室によく顔を出してくださり、先生方ともこのノートを共有し、相談し合いながら、日々の放課後まなび教室の運営に活用しているとのことでした。学校と放課後まなび教室がお互いに支え合いながら子どもたちを見守っておられ、頼もしく感じました。

